

## 【単元のポイント】

# 整数と小数

5年生 算数 第1単元

### 学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

#### 【A 数と計算】A(3) 小数の仕組みとその計算

整数及び小数の表し方についての理解を深め、整数及び小数を 10 倍、100 倍、1000 倍したり、10、100、1000 で割ったりした大きさの表し方や仕組みに着目してまとめること。

### ◆ 評価の 3 観点における目標

#### 【知識・技能】

- 整数と小数の仕組みが同じであることを理解している
- 10 倍、100 倍、1000 倍したときの小数点の移動を理解している
- 10、100、1000 で割ったときの小数点の移動を理解している
- 小数を「0.1 を何個集めた数」などで表すことができる

#### 【思考・判断・表現】

- 整数と小数の関係を十進位取り記数法の仕組みからとらえられる
- 小数の構成について多面的に考えることができる
- 数の相対的な大きさについて説明できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 整数と小数の共通点に関心をもっている
- 日常生活の場面で数の仕組みを活用しようとしている

## ◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

### 1. 十進位取り記数法の拡張

- 整数と同様に、小数も 10 進法に基づいている
- 1 の位の右に小数点を置き、0.1 の位、0.01 の位…と続く
- 位が 1 つ下がるごとに 10 分の 1 になる

### 2. 小数の構成

- 例： $1.435 = 1 + 0.4 + 0.03 + 0.005$
- 1.435 は「0.001 を 1435 こ集めた数」とも表せる
- 小数を多面的にとらえる力を育てる

### 3. 10 倍、100 倍、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$

- 10 倍すると小数点が右に 1 つ移動（位が 1 つ上がる）
- $\frac{1}{10}$  にすると小数点が左に 1 つ移動（位が 1 つ下がる）
- 100 倍、 $\frac{1}{100}$  は 2 つ移動
- 1000 倍、 $\frac{1}{1000}$  は 3 つ移動

### 4. つまづきやすいポイント

- 小数点の移動方向を間違える（10 倍で左に動かす等）
- 0.1 と  $\frac{1}{10}$  の関係が理解できない
- 「0.1 を 14 こ」と「0.01 を 14 こ」の違いが区別できない
- $\times 10$  と  $\div 10$  を混同する

## ◆ プリント作成時の配慮事項

1. 位取り表：整数と小数をつなげた位取り表で視覚的に理解
2. 具体例：新幹線のレール幅（1.435m）など身近な数値を使用
3. 段階的：10 倍→100 倍→1000 倍と段階的に扱う
4. 逆算：○倍した数と元の数の関係を問う
5. 分数との接続： $\frac{1}{10}=0.1$  の関係を意識させる